

エグゼクティブコース

無料開催

対面・オンライン併用

全6回



監修/モデレーター

村尾 信尚 *Murao Nobutaka*

関西学院大学 教授

日本の環境を考える

過去に例のない猛暑や豪雨。異常気象が異常でなくなった、と感じるのは私だけではないでしょう。人間の経済活動が地球環境に影響を与え、そのことが人類の生存自体を脅かしているという認識は、国際社会でも広く共有されています。

また人間の経済活動を支える原子力発電についても、15年前の福島第一原発事故を契機に、行政において大きな見直しがありました。大事故が起これば、私たちの生活や自然環境に取り返しのつかない損失が発生しかねない原発に対して、私たちはどのように向き合えばよいのでしょうか？

こうした問題意識のもと、2026年度丸の内講座では、「日本の環境を考える」とのテーマで、環境省担当者の方々と共に考えたいと思います。

- ・会場…対面(東京丸の内キャンパス)・オンライン併用
 - ・時間…18:30~20:30
 - ・定員…対面50名/オンライン100名
 - ・受講料…無料
- 前半は担当講師による講義、後半は講師と村尾によるクロストーク・質疑応答

第1回 2026年 4 / 16 ㊦

地域・ビジネスの視点からの 脱炭素社会(ネット・ゼロ)の実現

担当講師

杉井 威夫

Sugii Takeo

環境省 地球環境局
地球温暖化対策課長



略歴

- 2000年 環境庁(現環境省)入庁
- 2021年 環境教育推進室長
- 2021年 環境大臣秘書官事務取扱
- 2022年 広報室長
- 2023年 脱炭素ビジネス推進室長
- 2025年 現職

第2回 2026年 6 / 18 ㊦

循環資源の獲得競争の時代 ~循環経済(サーキュラーエコノミー)政策の最新動向~

担当講師

吉野 議章

Yoshino Noriaki

環境省 環境再生・資源循環局
総務課長/循環型社会推進室長



略歴

- 1997年 環境庁入庁
- 2013年 横浜市温暖化対策統括本部
環境未来都市推進担当部長
- 2015年 地球環境局 総務課 課長補佐
- 2016年 環境大臣秘書官事務取扱
- 2017年 大臣官房総合政策課政策評価室長
- 2018年 大臣官房総務課広報室長
- 2019年 環境再生・資源循環局
放射性物質汚染廃棄物対策室長
- 2021年 内閣官房内閣参事官
- 2023年 地球環境局地球温暖化対策課長
- 2025年 現職

第3回 2026年 8 / 6 ㊦

ネイチャーポジティブ(自然再興) の実現に向けて

担当講師

西村 学

Nishimura Manabu

環境省 自然環境局
自然環境計画課長



略歴

- 1994年 環境庁入庁
東北地方環境事務所
那覇自然環境事務所 等の現地勤務
- 2018年 自然環境局調査官
- 2019年 <出向>奈良県部次長
- 2021年 環境影響評価課長
- 2022年 <出向>復興庁参事官
- 2024年 国立公園課長
- 2025年 現職

第4回 2026年 10 / 15 ㊦

福島の環境再生について

担当講師

西村 治彦

Nishimura Haruhiko

環境省
大臣官房審議官



略歴

- 1994年 環境庁入庁
- 2012年 環境大臣秘書官事務取扱
- 2014年 内閣官房出向
(原子力規制組織改革等推進室参事官)
- 2016年 中間貯蔵施設整備担当参事官
- 2018年 大臣官房環境経済課長
- 2021年 地球環境局総務課長
- 2022年 大臣官房総合政策課長
- 2023年 大臣官房秘書課長
- 2025年 現職

第5回 2026年 12 / 17 ㊦

福島第一原子力発電所事故の 教訓と最新の原子力規制について

担当講師

田口 達也

Taguchi Tatsuya

原子力規制庁
原子力規制企画課長



略歴

- 1999年 通商産業省(現経済産業省)入省
- 2019年 原子力規制庁 実用炉審査部門長
- 2022年 同 人事課長
- 2025年 現職

第6回 2027年 2 / 18 ㊦

環境外交 ~国際潮流の動向と日本の役割~

担当講師

大井 通博

Oi Michihiro

環境省
大臣官房審議官



略歴

- 1995年 環境庁入庁
- 2003年 英国イーストアングリア大学院留学
- 2008年 経済協力開発機構(OECD)環境局派遣
- 2011年 環境省地球環境問題交渉官
- 2014年 国際地球温暖化対策室長
- 2016年 環境影響審査室長
- 2019年 国際連携課長
- 2022年 水環境課長
- 2024年 地球環境局総務課長
- 2025年 現職

MBA速習講座

MBA速習講座は、MBAで学ぶ理論やスキルを、対話やワークを中心としたケースメソッドを通じて、実践的に短時間で学べる講座です。

これまでの「基礎編」(全1回)、「実践編」(全7回)に加え、2026年度上期には新たに「コーチング入門」(全3回)を開講します。

経営者や管理職としての判断力や対話力を高めたい方はもちろん、MBAや中小企業診断士を目指し、経営の考え方を実務と結びつけて学びたい方にもおすすめの内容です。



担当講師
松田 太一
Matsuda Taichi

株式会社松田太一
代表取締役
経営学修士・工学修士

MBA速習講座・コーチング入門 — 指示・助言から「引き出す関わり」へ —

全3回

本講座は、コーチングを初めて学ぶ方を対象に、コーチングの基本的な考え方、日常業務で使える問いかけ・聴き方、部下・後輩との対話における具体的な使いどころを、講義と演習を通じて体系的に学ぶ入門講座です。

近年、管理職やリーダーに求められる役割は、「答えを与える人」から「考え、行動を引き出す人」へと変化しています。そこでコーチングの基本的な理論やスキルを日常の現場で自然に使えるコミュニケーションの選択肢として身につけられる講座を設計しました。理論の解説にとどまらず、ワークもふんだんに取り入れながら、「自分の関わり方はどうだったか」「明日から何を変えればよいか」を自ら言語化し、現場で実践できる状態になることを目指します。

- ・会場…東京丸の内キャンパス
- ・定員…20名(最少催行人数8名)
- ・時間…18:40~20:40
- ・受講料…12,000円

関西学院後援会・同窓9,000円 ※他の割引との併用はできません。

第1回 7/24(金) コーチングとは何か — マネジメントとの違いを理解する —

本回では、コーチングの基本的な考え方と目的を整理し、指示・助言・ティーチングとの違いを理解します。あわせて、日常のマネジメントやコミュニケーションにおいて、自分がどのような関わり方をしてきたかを振り返ります。コーチングが有効に機能する場面・そうでない場面を整理し、「なぜ今コーチングが求められているのか」を腹落ちさせることを目指します。

第2回 7/31(金) コーチングの基本スキル — 聴く・問うを体験する —

本回では、コーチングの中核となる「聴く」「問う」という基本スキルを、演習を通じて体験的に学びます。相手の考えを引き出す問いと、思考を止めてしまう問いの違いを理解し、実際に使ってみることで感覚をつかみます。うまくいかない場面も含めて振り返りながら、「分かったつもり」と「やってみて気づく」差を認識します。

第3回 8/7(金) 現場で使うコーチング — 明日からの行動に落としこむ —

本回では、コーチングを現場でどのように使えばよいかを具体的に整理します。1on1や日常の会話、短いやり取りの中で無理なく取り入れる方法を考え、自分の立場・業務に即した使いどころを明確にします。最後に、受講後すぐに試す行動を言語化し、「完璧を目指さず使い始める」ための実践イメージを持ち帰ります。

MBA速習講座・入門編

全1回

本講座では、MBA(経営学修士課程)で学ぶ経営戦略、アカウンティング、ファイナンス、マーケティング、組織行動論の概要とそのつながりを2時間で学ぶことができます。「企業価値とは何か」「株式会社のしくみはどのようなものか」を構造から理解した上で、それらと経営学がどのようにつながるのかが理解できます。

- 第1回 5/8(金) **対面開催** ※いずれも同じ内容です。どちらかにご参加ください。
- 5/22(金) **オンライン開催**

- ・会場…対面(東京丸の内キャンパス) / オンライン(Zoom)
- ・定員…20名(最少催行人数8名)
- ・時間…18:40~20:40
- ・受講料…4,000円

関西学院後援会・同窓3,000円 ※他の割引との併用はできません。

MBA速習講座・実践編 ~経営者・管理者に役立つ知識とスキル~

全7回

本講座の狙いは、経営者、管理者に求められる知識とスキルを身につけることです。最新の事例をもとにケースメソッドで経営学の理論を学んだ後、参加者自身の課題やその解決策についてレポートにまとめて発表します。経営学の知識や考え方に加えて、レポート作成指導を通じてパラグラフライティング法と呼ばれる論理的文章技法も身につけることができます。開始時には全く自信のない方も、終了時には必ず大きな成長と変化を感じることができます。

※各回の講座概要は丸の内講座ホームページをご確認ください。

- | | | | | | |
|-----|---------|----------------------------|-----|---------|-----------------------------|
| 第1回 | 6/5(金) | 財務諸表分析の考え方(アカウンティング論) | 第5回 | 7/3(金) | 人と組織の力を引き出す考え方(組織行動論/コーチング) |
| 第2回 | 6/12(金) | 全社戦略の考え方(事業ポートフォリオマネジメント論) | 第6回 | 7/10(金) | 論理的に伝えるための文章技法レポート作成指導 |
| 第3回 | 6/19(金) | 投資判断の考え方(ファイナンス論) | 第7回 | 7/17(金) | レポート発表 |
| 第4回 | 6/26(金) | 事業戦略の考え方(マーケティング論) | | | |

- ・会場…東京丸の内キャンパス
- ・定員…20名(最少催行人数8名)
- ・時間…18:40~20:40
- ・受講料…28,000円

関西学院後援会・同窓21,000円 ※他の割引との併用はできません。

アンコンシャス・バイアスを 乗り越える対話実践

「なぜか苦手なタイプ」「つい任せたくなる人」など、職場の評価・採用・役割分担・コミュニケーションの意思決定には、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が影響します。

本講座(全2回)では、バイアスの認知メカニズムや起こりやすい場面などの基礎知識に加え、マジョリティ・マイノリティの構図や職場のケースを手がかりに、対話によってバイアスに気づき、乗り越えるプロセスを学びます。各回とも講義+対話(グループトーク)で構成し、参加者同士の協働を通じて理解を深めます。さらに、バイアスを扱う対話の設計・運営の視点も扱うため、チームマネジメントや対話型ワークショップ運営に関心のある方にも有用です。

- ・会場…対面(東京丸の内キャンパス)・オンライン併用
- ・定員…対面20名/オンライン40名
- ・時間…18:00~20:00
- ・受講料…4,000円



担当講師

岩澤 直美

Iwazawa Naomi

株式会社Culmony 代表取締役
東京大学大学院 博士課程

第1回 6/4(木) 無意識の前提をほどく: バイアスに気づく対話

日常や職場で生じるアンコンシャス・バイアスについて、認知メカニズムと起こりやすい場面を講義で整理します。対話(グループトーク)では、意思決定の具体例を題材に、判断の前提や解釈の偏りを振り返り、バイアスを自分ごととして言語化していきます。

第2回 6/11(木) 判断をアップデートする: バイアスを乗り越える対話

日々のコミュニケーションや評価の場面で、どのようにバイアスを乗り越え、判断をアップデートしていくかを扱います。講義では、自身の判断の偏りを修正する視点に加え、他者の無意識なバイアスに直面した際に、関係性を損なわずに問い直し・指摘・対話につなげる考え方を整理します。対話(グループトーク)では、日常のケースを題材に、言い方・聞き方・受け止め方の選択肢を検討し、バイアスを減らすコミュニケーションを検討します。

続編:分業制スポーツに おける組織論 ~自分で考える力~

2026年2月に開催した講座の続編です。前回とは違った視点を加えてお話いただけます。

アメリカンフットボールは様々な状況の中、各自がスピード感を持って状況判断をし、チームで勝利を目指します。これは仕事にも置き換えることができ、私は監督在任中、ビジネスでも使われるPDCA、OODAを使い、答えを与えずに気付かせ、自ら学習する習慣を作り、個々に見合ったコーチングを実践してきました。

組織単位、個人単位で主体的に行動できるよう、目標設定や判断力、指導者としての心構えを、関西学院大学 アメリカンフットボール部を12回日本一に導いた経験を活かし、お話いたします。

- ・会場…対面(東京丸の内キャンパス)・オンライン併用
- ・定員…対面40名/オンライン100名
- ・時間…10:30~12:30
- ・受講料…2,000円



担当講師

鳥内 秀晃

Toriuchi Hideaki

関西学院大学
アメリカンフットボール部 前監督

1982年に関西学院大学文学部を卒業、同年アメリカヘコーチ留学(サザンオレゴン大学、カルフォルニア大学ロサンゼルス校:UCLA)、帰国後の1986年に関西学院大学アメリカンフットボール部アシスタントヘッドコーチ兼守備コーディネーターを経て、1992年に同部監督就任。指導者として甲子園ボウル出場15回、優勝12回、ライスボウル優勝1回の成績を収める。また、2016年には、世界大学選手権日本代表チームも指揮。2020年1月監督を退任。引退後は、アメリカンフットボール界、スポーツ界の更なる発展のため、スポーツを通じた人間形成の経験を活かし、教育理念や実践法を啓発。また、各種講演、メディアでの解説等を行っている。

第1回 7/4(土)

丸の内講座 受講生の声

学ぶだけじゃない!同志との出会いも!

学生時代に
戻ったような感覚で、
学ぶ楽しさを
再発見できました。

緊張しながらも
毎回参加して
よかったと感じる、
充実した講座でした。

卒業生以外にも開かれた
学びの場で、
志を同じくする仲間と
貴重な時間を過ごせました。

学びの楽しさと
仲間とのつながりを
実感しました。

講座の内容が
充実していたので、
様々な分野でもぜひ
開催してほしいです!

知っているだけで大違い！ 不正や事故の際の報道対応

大手生命保険会社の社員による巨額詐取、電力会社のデータ過小評価、テレビ局のタレント問題、大手メーカーの大規模情報漏洩…不正や不祥事、トラブルなどのネガティブ案件の発生が後を絶ちません。「わが社はないだろう」と思っていませんか。いいえ、人間が働いている限りどんな優良企業でも起こりえます。SNSが発達した現代では大企業でも中小企業でも取材対象になります。その際、報道対応を間違えるとダメージは大きく幹部辞任、社名変更、売却、倒産、ということになります。商品PRやマーケティングといった「ポジティブ案件」とは違い、社会の冷たい目、糾弾、突き上げにあうのが「ネガティブ案件」。特有の対応ノウハウがあります。数々の不祥事やトラブル取材を経験してきた現役ニュースデスクがあるべき「ネガティブ案件対応」について少人数の講座で実践的ノウハウを指導。万一の報道リスクに備えて組織の体制強化を目指します。企業経営に関わる幹部、広報の担当者、コンサル業の方々などにお薦めです。

- ・会場…東京丸の内キャンパス
- ・定員…10名（最少催行人数6名）
- ・時間…19:00～21:00
- ・受講料…12,000円

関西学院後援会・同窓10,000円
※他の割引との併用はできません。



担当講師

山崎 淑行

Yamasaki Yoshiyuki

NHK解説委員
元NHKジャーナル
解説キャスター

第1回 9/11(金) 「報道対応に求められる事例とは？」

どんな事案が報道されるのか？ 対応に失敗するとどうなるのか？ 最近の不祥事や不正、トラブルを起こした他の企業の事例を参加者全員で検証。「では、どう対応しておけばよかったのか」を深めます。ネガティブ案件対応の重要性と必要な体制の理解を目指します。

第2回 9/25(金) SNSや会見での説明や謝罪対応ノウハウ

報道の問い合わせにどうしたらいい？ SNSやホームページはどういう内容にすべき？ 記者会見のやり方は？ 報道対応が必要になった場合の具体的な対応を考えます。準備事項や注意点を整理しすぐに使える実践的なノウハウを体得します。

リスクマネジメント実践コース
出張講座のご案内

学外に出向いて講義いたします。報道・広報に関する講義内容はご希望に応じて柔軟に対応いたします。下記連絡先まで、お気軽にお問合せください。

お問い合わせ ▶ TEL. 03-5222-5678 受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日と学院の定める休日を除く)

AI新世をどう生き抜くか

AIがこれから生活や社会に革命的な変化をもたらす——そう考えている人は多いのではないのでしょうか。「人新世」ならぬ「AI新世」という表現も使われるようになりました。AIが国や企業そして個人の将来を大きく左右することになりそうです。この新しい時代に我々はどうすれば生き抜くことができるのでしょうか。AIや、それを支えるインフラと言うべきエネルギーの専門家と共に考えたいと思います。グローバル・ゼミナールは、少人数でグローバルな問題をより深く理解するのが主な目的です。歴史を振り返りながら、現状を分析します。それを通じて情報収集・分析の手法やノウハウもお伝えしたいと考えています。

関西学院大学教員、日本経済新聞社の論説委員や編集委員、日本経済研究センター研究員を中心に識者をゲスト講師として招き、レクチャー後の議論を通じ理解を深めます。

これまで米中露関係や、アメリカとアジアの情勢を取り上げ、さらに、「半導体とエネルギーの地政学」「人工知能(AI)の光と影」「世界の3大リスクを追う」「東アジアの安全保障を考える」などをテーマに議論してきました。

このコースでは、受講する皆さんが新たな知見を得るだけでなく、関西学院大学、日経新聞社、そして日本経済研究センターとのネットワークとつながることを期待しています。

- ・会場…対面
(東京丸の内キャンパス)・
オンライン併用
- ・定員…15名
(最少催行人数12名)
- ・時間…15:00～17:00
- ・受講料…9,000円



監修/モデレーター

小池 洋次

Koike Hirotsugu

関西学院大学
フェロー

第1回 5/16(土)

興亡の現在地

先頭に立つ国々の政府や企業のAI及び半導体開発への取り組みはどこまで進んでいるのでしょうか。現状をしっかりと押さえておきたいと思います。

担当講師

関口 和一

Sekiguchi Waichi

株式会社MM総研 代表取締役所長



第2回 6/20(土)

覇権争いの行方

国や企業の競争で主導権を握るのはどこなのでしょうか。専門家に占ってもらいたいと思います。個人への影響も話してもらいましょう。

第3回 7/18(土)

エネルギー争奪戦

AIは巨大なデータセンターが必要で、これから膨大なエネルギーが必要になりそうです。エネルギー確保のための各国の戦略とは何でしょうか。原発の再稼働問題や未来のエネルギーについても話してもらいます。

担当講師

松尾 博文

Matsuo Hirofumi

日本経済新聞
コメンテーター兼上級論説委員



TOEICスコアアップ 基礎講座3.0

—パターンとテクニックを学ぼう—

本コースは、TOEICテスト初級者に向けたオンライン講座です。春学期の開催は3回目！TOEICテストをはじめて受験する人、英語に自信のない人、スコア500前後で悩んでいる人など、TOEICテストに不安を持っている初級者が対象です。本コースでは、TOEICのパートごとの特徴を理解し、基本的な攻略テクニックをチェックしながら、英語の基礎力アップを目指します。教本として、『はじめてのTOEIC L&Rテスト全パート総合対策』（アスク出版）を使います。授業で使用する問題は、オリジナルのL&Rプリントです。こちらは授業前に配布します。



- ・会場…オンライン
- ・定員…なし(最少催行人数12名)
- ・時間…18:30～20:00
- ・受講料…8,000円(テキストは各自ご用意ください。)



担当講師
塚田 幸光
Tsukada Yukihiko

関西学院大学法学部・大学院
言語コミュニケーション文化研究科
教授

第1回 **6/3水** 基礎力アップ講座①
(パターン&テクニック初級編)

第1回はリスニングを軸に、全パートの頻出のテクニック&パターンを攻略します。

第2回 **6/10水** 基礎力アップ講座②
(L&R攻略編)

第2回はリスニングの復習をしながら、リーディングの頻出パターンを攻略します。

第3回 **6/17水** 基礎力アップ講座③
(文法・フレーズ攻略編)

第3回はPart5の文法・品詞・語彙問題の攻略編です。L&Rの復習も行います。

第4回 **6/24水** 基礎力アップ講座④
(L&R応用編)

第4回は全パートを確認しながら、得点力アップを目指します。

第5回 **7/1水** 基礎力アップ講座⑤
(L&R応用編)

第5回は、L&Rの最終チェックです。全パートのテクニックも確認します。

結果を出す組織の作り方

～小惑星探査「はやぶさ2」計画からのヒント～

小惑星探査機「はやぶさ2」 人類誕生のルーツを探るため小惑星リュウグウに宇宙空間を長期に飛行して、小惑星にタッチダウン、内部の岩石を見事に採取して地球に持ち帰った。「はやぶさ初号機」に続く快挙に世界は驚きNASAも参考にしたこのプロジェクト。チームはJAXAの他、メーカーや大学など様々なスタッフが参集し未踏の地に到達した。プロジェクトを任せられた若きリーダーJAXA津田雄一氏と初号機から取材を重ねてきたNHKデスクの山崎淑行氏を講師に招き、結果を出す「勝てる組織」づくりのヒントを学ぶ。講座は講師の著書をベースに解説とその後の参加者討議を展開し、知見を深める。

- ・会場…東京丸の内キャンパス
- ・定員…20名(最少催行人数10名)
- ・時間…10:30～13:00
講座終了後、講師を交えて懇親会開催を予定。
(費用は別途実費)
- ・受講料…3,000円(書籍代は含みません。)

(参考図書)各自ご準備いただくようお願いしています。
▼津田雄一著「はやぶさ2のプロジェクトマネージャはなぜ「無駄」を大切にされたのか?」(朝日新聞出版)
▼NHK取材班著「密着取材 地球帰還までの2195日ドキュメント はやぶさ2の大冒険」(講談社)
当日講座参加時にお持ちいただいた方には、講師のサイン可能

担当講師

津田 雄一
Tsuda Yuichi

JAXA
小惑星探査機「はやぶさ2」
元プロジェクトマネージャ



山崎 淑行
Yamasaki Yoshiyuki

NHK解説委員
元NHKジャーナル解説キャスター



トピック 「はやぶさ2」は、2020年12月6日に地球にカプセルを届けた後、「拡張ミッション」として継続して運用されています。2026年7月5日には、小惑星トリフネの近くを通過して観測するフライバイ探査を行います。今回は、「拡張ミッション」の最新情報にも触れる予定です。

第1回 **6/20土**

世界初を連発した最強チームはどう作られたか。目標設定の置き方は? 組織の構成は? 人材の集め方と配置は? 危機にどう臨んだか? リーダーはどうあるべきか? 成功する組織のエッセンスをはやぶさ初号機と2号機の取り組みから抽出し、テキストをベースに講師が成功のポイントを解説。その上で参加者で意見交換し、勝てる組織をつくるための要諦を体得してもらう。

1889年に宣教師W.R.ランバスによって設立されたキリスト教主義教育に基づく全人教育を行う総合学園です。幼稚園から大学・大学院、インターナショナルスクールまで9つの学校からなり、6つのキャンパスが兵庫県西宮市、三田市を中心に所在しています。その中核となる関西学院大学は、2021年4月神戸三田キャンパス(KSC)に理系4学部(理・工・生命環境・建築)を新設、総合政策学部とあわせて5学部体制に改組。14学部14研究科からなる総合大学として、「Mastery for Service」をスクールモットーに「世界市民」の育成を掲げています。

校名の由来

関西学院(かんせいがくいん)という校名は、関東に対する関西として西日本の指導者ともなる意味で名付けられました。1889年当時、学院という名称は非常に珍しく、そのころのミッション・スクールは〇〇英和学校、〇〇英和女学校などと呼ぶものが多く、こうした伝統を破っての命名でした。「関西」を「かんせい」(当時はクワンセイ)と読むのは、当時の学生気質が進取革新的で、東京をトウケイというように漢音読みする傾向があったので、本学の校名もそれにちなんだわけです。そしてそこには現在の学風につながる自由な発想がありました。



ナレッジコース特別講座 対面・オンライン併用 **全2回**

あなたはAI活用の 先導者となる

～生成AIで能力にブーストをかけられる 人材の育成～

生成AIの登場により、もはやAIは社会基盤となったといっても過言ではありません。しかし、その価値を十分に引き出すためには、AIを活用してビジネス課題をどのように解決するか具体的な道筋を主体的に考えられる人材が必要です。そのような人材を育成し、組織化し、戦力にできる企業だけが、これからの激動の社会で生き残れるでしょう。本講座では、生成AI時代の人材の育成と活用の考え方および方法論をお伝えするだけでなく、生成AIによるすさまじい業務効率化を自ら行う体験をすることで、理論と実践を習得できます。

(注)第2回は、BYOD(Bring Your Own Device)で実際にノートPCを用いた開発体験もしていただけます。なお、プログラミング経験はなくても問題ありませんが、Pythonによる開発環境を入れられていればその場ですぐに実行することができます。

第1回	6/26金	生成AI時代の人材の育成と活用 (講義およびディスカッション)
第2回	7/3金	AI活用ワークショップ ～生成AIを活用した業務効率化の デザインと開発～

- ・会場…対面(東京丸の内キャンパス)・オンライン併用
- ・定員…対面30名/オンライン60名
- ・時間…18:00～20:00
- ・受講料…個人申込 2,000円 法人申込(※)8,000円

(※)法人申込について

法人としてお申込みをいただいた場合、最大4名まで受講登録が可能です。(ただし、1回あたりの参加者は2名まで。お申込みの際に参加者のお名前をご入力いただく必要あり。)例えば、1回目は経営層、2回目は実務者など、参加者を変更いただけますので、より多くの方が知識を習得することができます。



担当講師

巳波 弘佳

Miwa Hiroyoshi

関西学院大学
副学長・情報化推進機構長・
AI活用人材育成プログラム統括・
工学部情報工学課程教授

略歴：

1992年 東京大学理学部数学科卒業、NTT研究所
2002年 関西学院大理工学部情報科専任講師
2006年 同大学助教授
2012年 同大学教授
2000年 京都大学博士(情報学)
関西学院情報化推進機構長、AI活用人材育成プログラム統括、文部科学省数理・データサイエンス・AI教育プログラム関連各種委員、ひょうご経済・雇用戦略推進会議委員、理化学研究所第5期ICT戦略タスクフォース委員等も務める。専門分野は数理工学。

著書：

「情報ネットワークの数理と最適化」(コロナ社 2015年)

受講までの流れ

<h4>1 受講申込</h4> <p>ホームページよりお申込みください。 ※申込期限は、特に記載がない限り初回講座の3日前までを目途としております。</p> <p>関学 丸の内講座 で検索または 下記2次元コードからお申込みフォームへ。</p> 	<h4>2 お支払い</h4> <p>振込期限までに、 ATMもしくは インターネットバンキングにて お振込みをお願いします。</p> <p>※振込手数料は、振込者の負担にてお願いいたします。 ※領収書は銀行の送金証書をもって代えさせていただきます。受講が終了するまで保管ください。</p>	<h4>3 受講案内</h4> <p>受講料のお支払いが完了された方に、講座開講日1週間～3日前を目途とし「受講ご案内メール」を送信いたします。</p>	<h4>4 当日(初回)</h4> <p>キャンパスへの入室は、講座開始時刻20分前からとなります。受付等の詳細は「受講ご案内メール」にてお知らせをいたします。</p>
--	--	--	--